

" 吉崎歩 " <ayuyoshi@g.ecc.u-tokyo.ac.jp> 2022 年 10 月 31 日 5:18

To: Tempei Miyaji <tmiyaji@m.u-tokyo.ac.jp>, 日本化粧品協会引地功一 <hikichi@japan-ca.jp> ,

中国連永田美智子様(nagata@jfms.jp) <nagata@jfms.jp>, 中国連山梨 <yamanashi@jfms.jp>

Cc: 吉崎歩 ayuyoshi@me.com

皆様

平素より大変お世話になっております。

東大皮膚科の吉崎です。

講座の設立についてですが、昨夜、以下の指摘についての連絡が、佐藤先生に届きました。附議は水曜日とのことで、至急ご対応頂けますでしょうか？

よろしくお願いいたします。

吉崎歩

件名：「臨床カンナビノイド学講座」社会連携講座について（指摘事項）

皮膚科

教授

佐藤伸一殿

先端研究調整部会副部会長

「臨床カンナビノイド学講座」社会連携講座について（指摘事項）

標記について、令和4年10月27日の先端研究調整部会で審議され、下記のとおり指摘事項がありましたので、ご対応方、よろしくお願いいたします。

指摘事項のご回答は、研究協力担当あてにご連絡ください。

ご回答内容を受領いたしましてあらためて先端研究調整部会で検討いたします。

先端研究調整部会で承認いたしましたら、医学部運営委員会及び教授総会に附議いたしますが、状況によっては附議出来ないことがございますことを予めご了解ください。

記

【指摘事項】

o 講座名称「臨床カンナビノイド学講座」について

「カンナビノイド」という用語は、化粧品、健康食品等の商品を想起させる可能性があり、本講座名で設置することで、特定のカンナビノイド商品の宣伝や広告塔に利用されないかという懸念があるが、出資企業より商品の宣伝には利用しないという言質を文書で取る等の、何らかの対応は可能であるか、ご回答いただきたい。

o 一般社団法人日本中小企業団体連名からの出資金について

福島県復興のための公的資金（福島県地域復興実用化開発等促進事業費補助金）を本社会連携講座の経費に充てることについて、当該補助金の使途と合致し適正であることが明確となる詳細なご説明と、それを裏付ける財務内容について一定の開示をいただけないか、ご回答をいただきたい。

以上、どうぞよろしくお願いいたします。

吉崎歩<ayuyoshi@g.ecc.u-tokyo.ac.jp> 2022 年 10 月 31 日 9:01

To: Tempei Miyaji <tmiyaij@m.u-tokyo.ac.jp>, 日本化粧品協会引地功一<hikichi@japan-ca.jp>, 中国連永田美智子様(nagata@jfms.jp) <nagata@jfms.jp>, 中国連山梨<yamanashi@jfms.jp>

Cc: 吉崎歩 ayuyoshi@me.com

皆様

東大皮膚科の吉崎です。

先ほどお送りしたメールですが、教授総会が水曜日なので、間に合わせるには本日の早い時間に返答が必要となります。

そこで、佐藤先生が以下の返答をお考えになりました。

指摘事項 1

講座名称「臨床カンナビノイド学講座」について

「カンナビノイド」という用語は、化粧品、健康食品等の商品を想起させる可能性があり、本講座名で設置することで、特定のカンナビノイド商品の宣伝や広告塔に利用されないかという懸念があるが、出資企業より商品の宣伝には利用しないという言質を文書で取る等の、何らかの対応は可能であるか、ご回答いただきたい。

回答

本講座は、カンナビノイド一般についてその科学的エビデンスを創出することが目的であり、特定のカンナビノイド商品の宣伝などには関与しません。

従って、出資企業からは、商品の宣伝には利用しない旨を記載した誓約書を提出して頂きま

す。

→この文章中の誓約書、出して頂くことは可能でしょうか？誓約書自体は、本日でなくても良いと思いますが、「誓約書のご提出を確約頂いた」と記載されたいとのことです。

指摘事項 2

一般社団法人日本中小企業団体連名からの出資金について

福島県復興のための公的資金（福島県地域復興実用化開発等促進事業費補助金）を本社会連携講座の経費に充てることについて、

当該補助金の使途と合致し適正であることが明確となる詳細なご説明と、

それを裏付ける財務内容について一定の開示をいただけないか、ご回答をいただきたい。

回答

福島県知事に提出された、令和 4 年度地域復興実用化開発等促進事業費補助金交付申請書の事業計画名は「高収益農産物の栽培・加工技術確立とそれらの活用に関する研究・商品開発」であり、概要は「東日本大震災、台風 19 号の影響により、農業用地の荒廃が進み管理困難な状況ですが、農業用地復活および災害防止の観点から、新たに農業用地等の拡充と整備を行い、再生エネルギーを利活用して、手間が少なく土壌改良に適した産業用大麻草を栽培・加工を行い、それぞれの技術を確立させます。また、それらの活用に関する研究を行い、高次化産業用商品を開発します。」となっています。

この申請書の中に、開発体制として、東京大学大学院医学系研究科に、寄付講座（申請時には、申請者が社会連携講座の存在を知らなかったために、寄付講座として申請しています）を設置し、カンナビノイドの臨床研究を行うことが記載されており、当該採択後、寄付講座を申し込むための準備を現在進めている旨も記載されています。

同時に、申請額総額 532,700,000 円のうち、寄付講座 2,200 万円 I 年（令和 4-6 年）が計上されています。

令和 4 年の本補助金の議会での承認が遅れているため、令和 4 年度については、全額を一般社団法人中小企業団体連盟が支出することになっています。

来年度からは本補助金が採択されれば、社会連携講座の経費を補助金から一部支出しますが、採択されなければ、全額を一般社団法人中小企業団体連盟が支出することになります。

その旨は、貸貸対照表の不提出に係る理由書の中に、「申請書に記載させて頂いた資金の提供につきましては、お約束させていただきます」と記載がある通りです。

→このような記載で正しいでしょうか？もし不足などがある場合には、ご修正をお願いいたします。

ばたばたしておりまして恐縮ですが、ご対応の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、上記指摘事項に対する回答は、佐藤先生のほうから、大学事務の方になされます。

吉崎歩